「同時多発大腸癌に対する術式選択の検討」に関する研究について

１．研究の対象

2019 年から 2025 年に磐田市立総合病院消化器外科で手術を受けられた、同時多発大腸癌の患者さん

２．研究目的・方法

大腸癌は本邦の消化管悪性腫瘍では罹患数が最も多く，また広大な臓器であるため同時に複数の病変が散見されることがあります．その治療として過不足がないように手術により切除する方法が最も根治的ですが，多発病変の場合には病変の局在により術式が規定されます．

現在，同時多発大腸癌に対して外科治療を要する症例において，腫瘍の解剖学的局在が術式選択や短期成績にどのような影響を及ぼしているかは明らかではありません．

本研究では当院で過去に外科治療を行った同時多発大腸癌症例の診療情報を用いて，腫瘍の解剖学的局在により術式選択や短期成績が変動するかについて調査します．

研究期間は，病院長による承認後～2027年04月10日です。

３．研究に用いる試料・情報の種類

術前の年齢，性別，腫瘍局在，顕性症状の有無，腫瘍局在のカテゴリー（近接・遠隔），術前臨床病期，手術時間，出血量，術式，手術アプローチ（開腹・鏡視下），術後切除検体病理所見，各病変の病理所見（深達度，所属リンパ節転移の有無），腫瘍遺残の有無，術後合併症の有無，術後合併症の程度（Clavien-Dindo 分類）

４．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
研究責任者：磐田市立総合病院　消化器外科　深澤貴子
住所：静岡県磐田市大久保 512-3
電話：0538-38-5000